



## 九州大学教育学部が海外（中国・タイ）に海外高大接続教育研究拠点を設置

### 概要

九州大学教育学部では、中国（上海、深セン：信男教育学園）とタイ（ナコンシータマラート：柳川高等学校附属タイ中学校）の中等教育機関に九州大学教育学部附属の海外高大接続教育研究拠点を設置し、留学生の高大接続について、教育・研究の両面を進めていきます。留学生に対しては、模擬講義と大学の研究室体験を一緒に行う海外リサーチトライアル（研究体験事業）を実施するとともに、九州大学の学生に対しては、ティーチング・アシスタントとして海外に同行させ、海外の学校文化を学ぶなどの海外体験や学校インターンシップを行い、グローバル人材の育成を目指します。

### 背景

2008年に出された「留学生 30 万人計画」のもと年々留学生の数は増え続け、平成 29 年度外国人留学生在籍状況調査によれば、平成 29 年度 5 月 1 日現在の留学生数は、267,042 人です。一方、留学生数は、学部段階では 80,020 人、大学院段階では 46,373 人でここ 10 年ほぼ横ばいであり、急激に増加しているのは、日本語教育機関となっています。九州大学もスーパーグローバル創成支援（トップ型）に選定されており、良質な留学生の確保は急務であります。

九州大学では、これまで、「研究大学」（リサーチ・ユニバーシティ）であることを鑑み、次世代の研究者養成のポリシーのもと、科学技術振興機構「グローバルサイエンスキャンパス」委託事業「九州大学未来創成科学者育成プロジェクト」、文系のための研究者養成講座「リサーチトライアル」など、高大連携活動に積極的に取り組んで参りました。今回、九州大学教育学部では、海外の中等教育機関に高大接続教育拠点を設置し、「留学生のための研究者養成講座」を新たにスタートさせます。

### 内容

日本式の（モラル）教育を導入し、第一外国語や第二外国語で日本語を学び、日本の教科書で授業を受け、日本の大学進学を目指すいわゆる「ジャパンスクール」（日本語によるインターナショナル・スクール）の設立がアジア各地（中国、タイ、ベトナム、モンゴル、台湾など）で相次いでいます。九州大学教育学部では、これらの「ジャンパンスクール」の中等教育機関と MOU を結び、海外高大接続教育研究拠点を設置します。

具体的には、中国（上海、深セン：信男教育学園）とタイ（ナコンシータマラート：柳川高等学校附属タイ中学校）の中等教育機関に九州大学教育学部附属の海外高大接続教育研究拠点を置き、留学生の高大接続について、教育・研究の両面を進めていきます。留学生に対しては、模擬講義と大学の研究室体験を一緒に行う海外リサーチトライアル（研究体験事業）を実施するとともに、九州大学の学生に対しては、ティーチング・アシスタントとして海外に同行させ、海外の学校文化を学ぶなどの海外体験、学校インターンシップを行い、グローバル人材の育成を目指します。

### 効果

日本における進路指導は、主として、本人の興味・関心・適正に応じて行われますが、海外の留学生の場合は、必ずしもそうではありません。留学生が、本当に興味・関心・適正のある進路選択ができるよう、研究と教育実践を進めていきます。

### 今後の展開

早期に意欲ある留学学生に対して適切な進路指導・研究指導を行うことで、将来的な我が国における留学生の質の底上げを図り、海外から優秀な高校生が積極的に参加する、新たなインバウンド型「高大接続」のフラッグシップ・モデルとなります。

#### 【お問い合わせ】

九州大学人文社会科学事務部教務課 教務第一係  
（人間環境学府・教育学部担当）

電話：092-802-6362

FAX：092-802-6396

Mail：[jbkkyomu1ed@jimu.kyushu-u.ac.jp](mailto:jbkkyomu1ed@jimu.kyushu-u.ac.jp)